

学校点描

気象庁は「夏らしい暑さ」とは言わず、「危険な暑さ」という言葉を使い始めました。昔の夏とは違ってきます。

《M中学校》

NO.8

R5. 7. 26

担当：校長

第10回全日本UJボクシング王座決定戦東北ブロック選考会において、中学45キロ級でK・Sさんが、同54キロ級においてK・Sさんが見事優勝しました。7月11日のY新聞では、「体格差の大きい中学生の部で勝つのは難しい」と記事に書かれています。東日本代表選考会にも出場しました。

7月15日（土）は、S文化会館にてS地区吹奏楽コンクールが開催されました。小編成で挑んだ本校吹奏楽部は1番目の演奏というハンデも乗り越えて、優秀賞に輝き見事県大会出場権を獲得しました。県吹奏楽コンクールは7月30日（日）に県民会館で行われます。

7月22日（土）～24日（月）に県内の各地を会場に県中学校総合体育大会が開催されました。柔道、サッカー、陸上に本校の生徒も出場しました。特にサッカーは2回戦でY大学附属中と対戦し、2-2の同点のままPKとなり惜敗しました。柔道男子団体は準々決勝でY辺中と対戦し、2勝2敗となり内容で惜敗しました。一方柔道個人戦では、60kg級でS・Rさんが準優勝、90kg級でA・Yさんが第3位、90kg超級でK・Yさんが準優勝となり東北大会出場を決めました。暑い中、参加した選手、保護者の皆さん、ソフトテニスの補助員で参加した皆さん、本当にお疲れ様でした。

親と子で過ごす時間

7月12日（水）に、M町ゆめ議会が開催されました。本場の議場にて、町長さんや、副町長さん、各課の課長さん達、さらには町議会議員の皆さんが一同に集まって、真剣に中学3年生の質疑に、本物と同じ緊張感で答弁してくれました。



議長席には、Y・Kさんと、K・Wさんが座り、議会特有の独特な言い回しも見事にこなして議事を進行していきます。

総合学習で調べたことをもとに、一般質問を行います。

N・Kさんは“滞在型施設”について質問しました。Y・Rさんは、大人から子供まで楽しめる場所のアイデアを形にするにはどうしたらよいですか？と質問しました。M・Nさん

は、廃校利用するとき町はどんなサポートをしてくれるか

聞いています。K・Rさんは、“ジェンダーカフェ”のアイデアを出して、大人では出ない発想ですと課長さん達を驚かしました。

親子と一緒に過ごせる時間は、生涯をとおして通算すると約9年間だそうです。気ままに読んでいた雑誌に書いてありました。驚きです。保護者にとって、子どもと一緒に過ごせる時間とは、学校以外の時間と睡眠時間、勤務時間を除いた時間で、それを計算して9年間になるそうです。

生涯で親と子が一緒に過ごせる9年間のうち、小学校へ上がるまでに35%、小学校を卒業するま

では55%を使ってしまい、高校を卒業までに70%を使ってしまう計算です。故郷のM町のことを真剣に考えてくれた生徒達も、親子で過ごす9年間のうち半分以上は使ってしまいました。

大会が終わって「オレのシュートどうだった」と聞いた。「へたくそだった」と兄、「まあまあかな」と父はいう。くやしいけど、また聞きたくなるんだよなあ、家に帰ると。

(山崎 文也 岩手県 中学校3年生)

毎年、文部科学省で募集している『楽しい子育て全国キャンペーン～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ』の応募作品です。どの家庭も、子どもと過ごす時間の中にいろいろなエピソードが隠れています。この三行詩にはそんなことを強く感じさせてくれます。

「頑張らなくていいからね。」その一言で 頑張れたよ、ありがとう、ばあちゃん

(武田 圭一郎 愛媛県 松山市 中学校2年生)

夏休み直前の日、あるお母さんから手紙をもらいました。前々任校で、不登校になったAくんのお母さんです。学校に行かなくなって、初めてわが子の心の内を知ったとき「どうして今まで気づいてやれなかったのか」と、当時お母さんはわたしと面談をする度に悔いていました。手紙には、去年の実家の墓参りに、実家の祖父母が学校に行っていないことを心配するからといってA君ひとり留守番をしたこと。お母さんは、県外の実家に向う前に、留守中の分の食事を用意しようとしたのだけど、Aくんから「自分ひとりで大丈夫、用意なんかしなくてもいい」と言われたことなどが書いてありました。

そしてこの手紙は続きます。お母さんが実家で1泊して戻ってきた日。出迎えたAくんが、こう言ったそうです。「楽しかった？ゆっくりできた？ぼくは、ちょっと寂しかったよ？」って。茶の間を見渡すと、自分の分だけでなく、家族全員の洗濯物がきれいに畳んで置かれていたそうです。



笑ったり 泣いたり 怒ったり あなたと過ごす 毎日は どんな映画よりも名作ね

藤崎 聡子 (大分県大分市 保護者)

子どもと過ごした通算9年間。笑ったり泣いたり、いつか必ず懐かしく振り返る時がきます。

きりとりせん

ご意見・ご感想をお願いします。